



安全データシート  
INSULCAST RTVS 27 PT B

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 INSULCAST RTVS 27 PT B

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 Casting compound

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers  
Bay 150  
Shannon Industrial Estate  
Co. Clare  
Ireland  
V14 DF82  
353(61)771500  
353(61)471285  
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外  
健康有害性 区分外  
環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分3 - H412

2.2. ラベル要素

危険有害性情報 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。  
注意書き P273 環境への放出を避けること。  
P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。  
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。

項目3：組成及び成分情報

項目4：応急措置

4.1. 応急措置の説明

吸入 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこと。医師の手当てを受けること。

経口摂取 無理に吐かせてはならない。直ちに医療処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

## INSULCAST RTVS 27 PT B

**皮膚接触** 汚染された衣類を取り除き、皮膚を水で十分に洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

**眼接触** 直ちに多量の水で洗うこと。コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けること。直ちに医師の手当てを受けること。洗い続けること。

### 4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

**一般情報** 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

### 4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

**医師に対する特別な注意事項** 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

## 項目5：火災時の措置

### 5.1. 消火剤

**適切な消火剤** 二酸化炭素または粉末消火剤。

**使ってはならない消火剤** 火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

### 5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

**特有の危険有害性** 過剰な圧力増大が生じるので、容器は加熱すると激しく破裂または爆発することがある。

### 5.3. 消火を行う者の保護

**消火活動中の保護措置** 水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。

**消火を行う者を保護するための特別な保護具** 陽圧自給式呼吸器 ( SCBA ) および適切な保護衣を着用すること。

## 項目6：漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

**人体に対する注意事項** この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。適切に換気すること。

### 6.2. 環境に対する注意事項

**環境に対する注意事項** 排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。

### 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

**浄化方法** 砂またはその他の不活性吸収剤で流出物を吸収すること。多量の水で流出物を洗い流すこと。適切に換気すること。

### 6.4. 他の項目の参照

**他の項目の参照** 個人保護具については、セクション8を参照。

## 項目7：取扱い及び保管上の注意

### 7.1. 安全な取扱いのための予防措置

**使用上の予防措置** 蒸気の吸入を避けること。適切に換気すること。使用しないときは必ず容器を密閉しておくこと。

### 7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

**保管上の予防措置** 涼しい換気の良い場所で保管すること。容器を乾燥した状態で保管する。混触危険物質 ( セクション10を参照 ) から遠ざけて保管すること。

### 7.3. 特定最終用途

**特定最終用途** この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

## INSULCAST RTVS 27 PT B

## 項目8 : ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈 成分に対する暴露限界値は知られていない。

## 8.2. ばく露防止

## 保護具



## 適切な設備対策

適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。製品または成分の職業暴露限界値がある場合にはこれを遵守すること。

## 眼 / 顔面の保護

次の保護具を着用しなければならない：顔面に密着する安全眼鏡。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

## 手の保護

リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護 接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

## 衛生措置

皮膚が汚染された場合には直ちに石鹼と水で洗うこと。直ちに濡れたり汚染されたりした全ての衣類を脱ぐこと。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。

## 呼吸器の保護

空中浮揚汚染物質が推奨職業暴露限界値を超える場合には呼吸用保護具を必ず使用しなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：ガスフィルタ、タイプA2。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびオートマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

## 項目9 : 物理的及び化学的性質

## 9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体。
色	不透明の液体。
引火点	>93.9°C
相対密度	1.47g/cm <sup>3</sup>

## 項目10 : 安定性及び反応性

反応性	酸。アルカリ。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	データ無し。
避けるべき条件	強酸化剤との接触を避けること。熱を避けること。
混触危険物質	強アルカリ。酸 - 酸化性。
危険有害な分解生成物	推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。

## 項目11 : 有害性情報

## INSULCAST RTVS 27 PT B

### 11.1. 有害性情報

吸入	長期にわたるまたは反復した暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある： 上気道刺激。
経口摂取	飲み込むと有害のおそれ。
皮膚接触	皮膚に接触すると有害のおそれ。
眼接触	眼を刺激するおそれがある。

### 項目12：環境影響情報

生態毒性	環境影響についての利用可能なデータは発見されていない。
毒性	決定されていない。

### 12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性	この製品の分解性についてのデータは無い。
---------	----------------------

### 12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性	生体蓄積性について利用可能なデータ無し。
-------	----------------------

### 12.4. 土壌中の移動性

移動性	移動性とは予想されない。
-----	--------------

### 12.6. 他の有害影響

他の有害影響	データ無し。
--------	--------

### 項目13：廃棄上の注意

#### 13.1. 廃棄上の注意

一般情報	廃棄物は規制された廃棄物として取り扱わなければならない。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。
廃棄方法	現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

### 項目14：輸送上の注意

一般事項	製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。
------	--

### 項目15：適用法令

### 項目16：その他の情報

改訂日付	2018/04/04
改訂版	3
破棄日付	2016/04/29
SDS番号	20696
危険有害性情報の全文	H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。